

② 公開特許公報(A) 平4-139182

⑤ Int. Cl.³

C 07 D 405/12
A 61 K 31/40

//(C 07 D 405/12
207:00
303:00)

識別記号

207
ABJ
AED

庁内整理番号

8829-4C
7475-4C
7475-4C

④ 公開 平成4年(1992)5月13日

7019-4C
7822-4C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全11頁)

⑧ 発明の名称 エポキシスクシナム酸誘導体およびその中間体

⑪ 特 願 平2-261657

⑫ 出 願 平2(1990)9月29日

⑬ 発 明 者	村 田	充 男	東京都豊島区高田3丁目24番1号	大正製薬株式会社内
⑭ 発 明 者	角 谷	重 幸	東京都豊島区高田3丁目24番1号	大正製薬株式会社内
⑮ 発 明 者	横 尾	千 尋	東京都豊島区高田3丁目24番1号	大正製薬株式会社内
⑯ 発 明 者	畑 山	勝 男	東京都豊島区高田3丁目24番1号	大正製薬株式会社内
⑰ 出 願 人	大正製薬株式会社		東京都豊島区高田3丁目24番1号	
⑱ 代 理 人	弁理士 北川 富造			

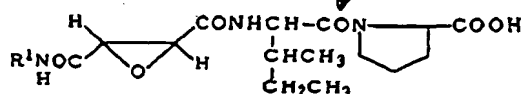
明 細 書

1. 発明の名称

エポキシスクシナム酸誘導体およびその
中間体

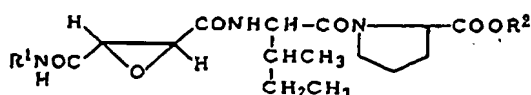
2. 特許請求の範囲

(1) 式



(式中、R¹は炭素原子数1～10のアルキル基、フェニル基またはベンジル基を示す。)で表わされるエポキシスクシナム酸誘導体およびその化学的に許容できる塩。

(2) 式



(式中、R¹は炭素原子数1～10のアルキル基、

フェニル基またはベンジル基を示し、R²はカルボキシル基の保護基を示す。)で表わされるエポキシスクシナム酸誘導体。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は医薬として有用なエポキシスクシナム酸誘導体に関し、更に詳しくはカタブシンBを特異的に阻害するエポキシスクシナム酸誘導体およびその製造中間体に関する。

従来の技術

システインプロテアーゼに属するカルシウム依存性中性プロテアーゼ(CANP)、カタブシンB、カタブシンLなどは、難病である筋ジストロフィー症やジスタールミオパチーなどの筋崩壊疾患において筋崩壊蛋白の分解に関与していると言われている。

従来、数種のシステインプロテアーゼの活性を阻害する化合物として、N-(L-3-トランス-

B